

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011那第45号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年10月22日（土） 18時45分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県石垣市石垣港南東方沖 石垣市所在の石垣港登野城^{とのしろ}第2号灯標から真方位200° 1,574m付近 （概位 北緯24° 18.7′ 東経124° 10.0′）</p>	
事故等調査の経過	<p>平成23年10月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
事実情報		
船種船名、総トン数	プレジャーボート なみ丸、16.91トン	
船舶番号、船舶所有者等	296-17200沖縄、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼曲損、キール凹損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者6人を乗せ、船首約1.0m、船尾約1.2mの喫水で石垣港南東方沖を約21ノットの速力により南進中、船長が、GPSプロッターに示されるリーフの表示を見ながら航行していたが、表示の輝度を下げていたため、その表示をはっきりと確認できないまま航行し、平成23年10月22日18時45分ごろ船底が石垣港南東方沖のリーフに乗り揚げた。 乗船者は、海上保安庁のヘリコプターによって救助され、本船は、後日仲間の船によって離礁し、石垣市所在の浜崎マリーナまでえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3 海象：波高 約2m、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>本船は、遊漁船として登録されていたが、本事故当時は、知人を乗せて釣りのために運航しており、業務としての運航ではなかった。 船長は、通常は港の西側から出港していたが、当日は時間の関係で港の東側の航路を航行して出港し、間もなく乗り揚げた。 船長は、本航路付近を航行するのは2年ぶりであった。 乗船者は、全員が救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	<p>本船は、石垣港南東方沖の浅瀬付近を南進中、船長が、GPSプロッターの輝度を下げ、リーフの表示が確認できない状況で航行したことから、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、石垣港南東方沖の浅瀬付近を南進中、船長が、GPSプロッターの輝度を下げ、リーフの表示が確認できない状況で</p>	

	航行したため、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
--	------------------------------------